

【神奈川区】平成 29 年第 1 回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	29 年 2 月 7 日 10 時 00 分 ～ 11 時 45 分
場 所	神奈川区役所 本館 5 階 大会議室
出席者	<p>【座長】藤代 哲夫 議員</p> <p>【議員：4 名】中山 大輔 議員、竹内 康洋 議員、宇佐美 さやか 議員、小松 範昭 議員</p> <p>【神奈川区：40 名】二宮 智美 区長、池澤 一郎 副区長、深川 敦子 福祉保健センター長、森 崇 福祉保健センター担当部長、山川 博子 福祉保健センター医務担当部長、脇出 一郎 神奈川土木事務所長、森田 清 神奈川消防署長 ほか関係職員</p>
議 題	<p>【議題】</p> <p>1 平成29年度神奈川区編成予算案総括について</p> <p>2 平成29年度神奈川区編成予算自主企画事業費案について</p>
発言の 要 旨	<p>中山議員：地域防災力向上事業のスタンドパイプ式初期消火器具整備費補助について、未整備の重点対策地域は現在どのくらいあるのか。</p> <p>池澤副区長： 40 団体ございまして、そのうち 28 団体が今年度までに整備を終了いたします。残り 12 団体ですが、うち 3 つがいわゆるマンションですので、それを除く 9 地区全てに配置することを目指します。</p> <p>中山議員：残り 3 団体についての対応はどうなるのか</p> <p>小林総務課長：基本的にはマンションなどの管理組合のなかで初期消火の対応をしていただく形で考えておりますが、スタンドパイプの申請があれば、状況を見ながら対応させていただきます。</p> <p>中山議員：交通安全対策事業では、路側帯のカラー化などにより歩行者環境の改善を図るということだが、区で把握している危険な場所の箇所数やカラー化対応について聞きたい。</p>

岡土木事務所副所長：具体的な数についての整理はされておりませんが、スクールゾーン協議会の方に出席をさせていただき、課題を認識し、できるところから対応しております。スクールゾーンのカラー舗装化については、今年度は沢渡や西寺尾、上菅田小の周辺などでも実施しており、補正予算分も含め、トータルで1.5キロほどを予定しています。

中山議員：放課後児童クラブの移行支援事業で、児童クラブの方からなかなか適当なところが見つからないと聞いている。区役所からも情報提供していると聞いているが、この情報を把握する際に区役所の職員が実際に環境を見に行っているのか。

平井学校連携・こども担当課長：物件探しについては、実際に職員が児童クラブ周辺の物件などを探しに歩いております。また、こども青少年局でスターツピタットハウスと連携し情報提供をいただくような形もとっており、現在、移転が必要な8か所のうち4か所程度が申し込んでいると聞いております。この制度の活用と、神奈川区が足で確認する情報とで、バックアップしていきたいと考えております。

中山議員：ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業では、新たに75歳となる方が対象とのことだが、神奈川区の対象者はどのくらいか。また、孤独死の問題も含め、地域の中でなかなか連絡がとれない方々へのアプローチが重要だと思うがどうか。

八嶋高齢・障害支援課長：地域防災の面では要介護認定者の方は、区内に概ね1万人くらいで、災害時要援護者リストとしては7,000人ほどとなっております。そういった接触を拒否する方に対しては、民生委員の方などによる外からの見守りという形で、例えば夜に明かりがちゃんとついているか、新聞がちゃんと取り込まれているかといったことを確認し、異常があれば地域包括支援センターや区役所にご連絡いただくようになっております。

藤原福祉保健課長：ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業につきましては、民生委員の方に健康福祉局の事業として名簿が提供されて

おります。資料にございますとおり、新たに75歳になった一人暮らしの方を中心に、民生委員の方が必ず訪問して状況を伺うようになっております。それ以外にも、ふれあい訪問などでの情報も共有しながら、日頃から声をかけたり、必要な情報をお届けしたりといった仕組みを構築しております。神奈川区の75歳以上のひとり暮らしの方は8,256人となっております。これは住民基本台帳上のひとり暮らしとなりますので、実際は家族の方と一緒に暮らしているなど、必ずしも全てが見守りの対象ということではございません。

竹内議員：地域防災力向上事業における次世代への防災意識啓発は大切だと考える。28年度に作成した中学生向け防災リーフレットはどのようなものか。

小林総務課長：今年度、公立中の担当教諭、地域防災拠点の委員長、神奈川消防署、区役所でプロジェクトを設置し、子どもたちへの防災意識啓発に有効な方法について検討を進めてまいりました。5回ほど開催し、特に学校の先生方からご意見をいただき、なるべくわかりやすいものをとということで、自助・共助についてのパンフレットを作成いたしました。

竹内議員：市民防災センターについて、児童・生徒の利用状況はどうか。

森田神奈川消防署長：区内の小学校は3校ほど、学校単位で市民防災センターを利用されたときいております。また、先生方については校長先生を含めた全ての方に見学いただいております。来年度に繋げていきたいと考えております。

竹内議員：介護予防・高齢者支援事業において、菅田地区などで見守り用グッズを配布していると聞いているが、その内容と今後の展開を伺いたい。

八嶋高齢・障害支援課長：現在、菅田地域ケアプラザと六角橋地域ケアプラザでおまもりライトというものを配っております。高齢者の徘徊や事故など、もしものときに身元の確認ができるよう、登録番号と地域包

括支援センターの連絡先が書かれたLEDライトを配っております。書かれた地域包括支援センターの連絡先に登録番号を伝えますと、その方の身元が確認できるシステムとなっております。個人名は書いてごさいません。実際に、菅田地域ケアプラザではこれまでに3件の保護事例がございます。いい取組だというお声をいただき、六角橋地域ケアプラザでも実施しており、来年度は区内全域での展開という形で考えております。

竹内議員：地域人材マッチングモデル事業においては、松見地区がモデル地区とのことだが、地区ボランティアセンターというのはどのようなものか。また、デビュー講座の実施状況も伺いたい。

橋本区政推進課長：デビュー講座の状況ですが、アンケートでお手伝いできると回答された方の中から、各町内会から推薦を受けた方41名が参加されました。ワーキングをしながら、実際に地区ボランティアセンターの活動にも協力していただけると聞いております。

藤原福祉保健課長：地区ボランティアセンターにつきましては、松見の連合会館の一部を使えないか調整中と伺っております。電話回線や事務局の体制についても検討中でございます。地区の中でエリアマネージャーを決めて、その方を中心にボランティアのコーディネートをしていくような組織体制についても、松見地区の町内会の皆さまが検討しておられます。もう少し全容が整理されましたら、ご報告できるかと考えております。

宇佐美議員：予算案の一般管理費について、スポーツセンターの指定管理者の提案額が安かったから前年より下がったということか。

大須賀地域振興課長：指定管理者募集の際に、今までの予算規模を想定しておりましたが、経営努力などにより想定よりも若干安い金額でご提案いただけたのが一つの要因でございます。

宇佐美議員：サービスを受ける側には影響はないのか。

大須賀地域振興課長：いろいろな創意工夫の中で、利用者に迷惑をかけることなく、また、質を落とすことなくやっていけると聞いておりまして、実際にそのようにやっていただけていると考えております。

宇佐美議員：感震ブレーカー等設置推進事業について、総務局で用意されているのが7,000個と聞いているが、神奈川区分がその7,000個のうちの1,250個ということか。

小林総務課長：総務局の事業と連携しておりますが、区の方では面的な普及を促進したいということで上乗せ補助をしております。個数については先生のお話しのとおりでございます。

宇佐美議員：局の補助額にプラスして、区が補助するということか。

小林総務課長：総務局では全体の2分の1を補助しており、区では全体の5分の2を上乗せとして補助しております。神奈川区は木造住宅が多い地域があることから、面的な普及を促進するためにそういった形をとっております。

宇佐美議員：大口駅の視覚障害者用誘導ブロックについては、古くなって摩耗してきたから補修を行うということか。

岡土木事務所副所長：大口駅・子安駅周辺についてはバリアフリー基本構想をつくっており、段差の解消や点字ブロックの再整備などにより、きれいにして歩きやすくしていこうと計画的に少しずつ進めています。今年度は大口駅から子安駅の商店街のところまでについて調整中で、調整が整ったところから着手し、来年度も引き続きやっていきたいと考えております。

宇佐美議員：他に整備予定はあるのか。

岡土木事務所副所長：バリアフリー基本構想につきましては、乗降客5,000人以上など一定の規模のところについては作ることであります。なかなか同時並行的にはできませんので、まずは大口駅・子安駅

からいうこととございます。

宇佐美議員：放課後児童クラブの移行支援事業について、児童クラブから「区役所に紹介されたところは、バスが必要だったり、歩いて30分もかかる場所だったりする」との声も聞かれる。区役所もがんばっているとは思いますが、実際に子どもが利用することを考えているのか。

平井学校連携・こども担当課長：ある程度の広さが必要となるなど面積などの要件があり、適した物件がなかなか見つからない厳しい状況ではありますが、なるべく、学校や児童クラブがある場所から近いところで探していきたいと考えております。

宇佐美議員：神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業において神奈川台場がないのは残念だ。マンション建設が予定されているが、台場も資産として遺し、アピールしていくことが必要ではないか。

橋本区政推進課長：区としても、台場については魅力資産として認識しております。たしかにマンションの開発計画では、おもてに露出した形での公開という形にはなっておりませんが、台場の保存と周知に向けた活動については台場の推進協会等と協調しながらPRしていければと考えております。

宇佐美議員：地域人材マッチングモデル事業というのは、松見地区で人材をマッチングしていくための前提ができたということか。

橋本区政推進課長：地域人材マッチングモデル事業のスキームが、アンケートをとるなど地域の方にはハードルの高い作業ですので、そちらの方を支援させていただきました。地域の方に、「手伝える」「手伝ってほしい」というアンケートを出していただき、それに基づいて担い手の方と町内会の方とをマッチングする仕組みを想定しております。

宇佐美議員：地域の避難訓練については、回覧板などのほかどのような形の周知を図っているのか。

小林総務課長：地域の避難訓練・防災訓練につきましては、周知も含めて地域で主体となってやっていただいておりますが、地域から周知方法などについて要望をいただくことがあれば、相談しながら対応していきたいと考えております。

小松議員：神奈川区制 90 周年記念事業について、期間というのはいつからいつまでなのか。

橋本区政推進課長：1月の賀詞交換会をスタートと考え、1月から12月までとなっております。

小松議員：寄付金の募集期間はどのくらいか。

二宮区長：協賛金は一口5,000円で6月末まで募集を受け付ける予定です。事業に反映できる期間ということで、上半期に協賛金を募るということでございます。なお、昨日の時点で119万円の寄付の申込みをいただいております。区からの実行委員会への補助金で必要最低限のことはできるよう予算化させていただきましたが、事業部会や式典部会からの様々なアイデアを実現するためにはやはり協賛金が必要となります。目標額は決めてはおりませんが、250万から350万くらいの規模を想定しております。2月17日に実行委員会で概ねの事業内容を議論しますが、そのときに協賛金の状況をみながら、事業計画を実行委員会で議論していただこうと考えております。ちなみに協賛金については強制とならないような形で、事業者の方などをまわってきたところでございます。

小松議員：寄付金の申込書の記載や振込案内などが大変わかりにくく、改良する余地があるのではないかと思います。この手続き内容では、せっかく寄付の意思があっても途中でいやになってしまうのではないかと。もっとスムーズにできる方法を検討すべきではないか。

二宮区長：とりまとめをしていただくような場合ですと特にお手数をおかけすることもありうるということで、検討させていただければと思います。貴重なご指摘ありがとうございます。

藤代議員：来年度は5区が区制90周年を迎える。近隣では鶴見区や保土ヶ谷区があると思うが、他の区との連携や、統一したイベントなどの考えはないのか。

二宮区長：まだ構想の段階でございますが、近隣区である鶴見区と保土ヶ谷区と、商店街を中心になにか連携ができないか企画を検討しており、それぞれの商店街の会長の皆さまにご相談させていただいております。